

バス放火事件！ - 西日本防災システム

2013 06 07

6月7日に中国福建省アモイ市で発生した死者47人を出した路線バス火災で同市は8日、容疑者の男が現場で焼死したと発表しました。

記事は、同市政府ニュースが8日夜に容疑者について発表を行ったことを紹介しています。容疑者は今年59歳になる同市出身の男で、現場に残されたDNAから特定されました。また、男が何度かバスを乗り換えて乗客の多いバスを選んでいたり、ガソリンを用いてバスに火をつけ、自身もその場で焼死したことが明らかとなりました。

さらに、男の自宅から遺書が発見され、生活がうまくいかなかった腹いせに放火を決意したことも警察の捜査により分かったようです。男の兄によりますと、男は以前生活保護を受けていましたが、職についたことで生活保護を打ち切れ、当局に陳情したことがあるようです。

このバス放火事件により、47人が死亡、34人が負傷して入院しました。乗客の中には入学試験を受けに行く途中の学生15人も含まれていましたが、うち8人の行方がまだ分かっていないそうです。



映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 